

訓練実施結果概要

訓練目的	横浜市、防災関係機関、市民、企業、NPO等との協働による総合的な訓練を、実災害において使用する学校や地域の施設等で実施することにより、発災時における迅速・的確な初動活動と、相互の連携体制を強めるとともに、市民防災意識の高揚及び地域防災力の向上を図る。
日 時	平成 19 年 9 月 1 日（土） 6:00 ～ 14:00
会 場	<ol style="list-style-type: none"> 1 都筑区内各所(茅ヶ崎中学校、茅ヶ崎小学校、都田小学校、荏田南中学校、ららぽーと横浜、昭和大学横浜市北部病院、市道佐江戸北山田線、都筑区役所等) 2 横浜海上防災基地 3 横浜駅周辺 4 横浜市役所
規 模	参加機関（団体） 66 機関、参加人員 7,300 名
想定地震	南関東地域(相模湾)を震源とするマグニチュード 7.9、市内最大震度 7 の地震が発生し、特に都筑区内の被害は甚大で家屋の倒壊や道路の損害をはじめ、電気・ガス・水道等のライフラインにも大きな被害が発生している。また、各所で火災が発生し、多数の死傷者が出ている。
訓練項目	<ol style="list-style-type: none"> 1 都筑区内各所 <ol style="list-style-type: none"> (1) 各学校における訓練 <ol style="list-style-type: none"> ア 避難誘導訓練 イ 地域防災拠点開設運営訓練 ウ 地域医療救護拠点開設運営訓練 エ 初期消火訓練 オ 応急救護活動訓練 カ 資機材取扱訓練 キ 救援物資受入配布訓練 ク 災害時要援護者対策訓練 ケ 児童引取り訓練 他 (2) ららぽーと横浜における訓練 <ol style="list-style-type: none"> ア 避難誘導訓練 イ 救出救助訓練 ウ トリアージ訓練 他 (3) 昭和大学横浜市北部病院における訓練 <ol style="list-style-type: none"> ア トリアージ訓練 イ 負傷者受入訓練 (4) 市道佐江戸北山田線における訓練 <ol style="list-style-type: none"> ア 緊急交通路確保訓練

	<ul style="list-style-type: none"> イ 道路啓開訓練 ウ 救出救助訓練 (5) 都筑区役所における訓練 <ul style="list-style-type: none"> ア 区災害対策本部運営訓練 イ 情報受伝達訓練 他 2 市役所における訓練 <ul style="list-style-type: none"> (1) 情報受伝達訓練 (2) 職員動員訓練 (3) 市本部審議訓練 他 3 横浜駅周辺における訓練 <ul style="list-style-type: none"> (1) 情報受伝達訓練 (2) 避難誘導訓練 (3) 検討会 他 4 横浜海上防災基地における訓練 <ul style="list-style-type: none"> 帰宅困難者対策訓練
<p style="text-align: center;">訓練の特徴</p>	<p><u>1 住民主体の防災訓練の実施</u> 都筑区の住民を中心とした「訓練企画運営委員会」を立ち上げ、訓練内容は委員会の意見に基づき計画し実施した。</p> <p><u>2 実災害に即した訓練の実施</u> 昨年「大規模会場型訓練」を見直し、地域住民が実際に避難する地域防災拠点を使用した訓練や、大規模商業施設を使用した避難訓練・救出救助訓練、公道を使用した緊急交通路確保訓練など、現場型（地域分散型）訓練を行った。</p>

<p style="text-align: center;">参加機関</p>	<p>八都県市広域応援協定自治体 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、川崎市、千葉市、さいたま市 陸上自衛隊第31普通科連隊 海上保安庁 横浜海上保安部 東京海上保安部 神奈川県警察本部・都筑警察署 指定公共機関 横浜中央郵便局・都筑郵便局 日本赤十字社神奈川県支部 (株)NTT東日本ー神奈川 (株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ神奈川支店 東京電力(株)鶴見支店 東京ガス(株)神奈川支店・東京ガス(株)神奈川導管ネットワークセンター 指定地方公共機関 (社)横浜市医師会・都筑区医師会 (社)横浜市歯科医師会・都筑区歯科医師会 (社)横浜市薬剤師会・都筑区薬剤師会 (社)神奈川県トラック協会</p>
--	---

(社)埼玉県トラック協会
(社)東京都トラック協会
(社)千葉県トラック協会

協定機関

(社)横浜建設業協会(横浜建設業防災作業隊都筑方面班)
(社)神奈川建設重機協同組合(災害救助隊)
(社)神奈川県エルピーガス協会
横浜市アマチュア無線非常通信協力会都筑支部
赤帽首都圏軽自動車協同組合神奈川県支部
(株)西友
生活協同組合コープかながわ
横浜中央市場青果卸協同組合(水浅青果(株))
横浜南部市場青果卸協同組合(榊川原青果)
金港物産(株)
浜一運送(株)

災害ボランティアバイクネットワーク関東神奈川支部

市民参加組織等

都筑区企画運営委員会
茅ヶ崎中学校地域防災拠点運営委員会
茅ヶ崎小学校地域防災拠点運営委員会
都田小学校地域防災拠点運営委員会
都筑消防団
NPO法人救助犬訓練士協会
NPO法人神奈川救助犬ネットワーク
赤十字防災ボランティア
神奈川県山岳赤十字奉仕団
NPO横浜青葉まちづくりフォーラム
都筑区民生委員児童委員協議会
都筑区障害児・者福祉団体連絡協議会
むつみ会

企業・団体等

ららぽーと横浜
昭和大学横浜市北部病院
横浜市立みなと赤十字病院
横浜市国際交流協会
青葉国際交流ラウンジ
東京横浜独逸学園
イツ・コミュニケーションズ(株)
横浜駅西口建築物等総合共同防火管理協議会
横浜駅東口建築物等共同防火管理協議会
東日本旅客鉄道(株)
東京急行電鉄(株)
京浜急行電鉄(株)
相模鉄道(株)

	横浜高速鉄道(株) 小中学校・保育園 茅ヶ崎中学校 茅ヶ崎小学校 都田小学校 荏田南中学校 茅ヶ崎保育園 横浜市
協力機関	なし

訓練の成果	<p>横浜市では、昨年から取り入れた地域分散型訓練(現場型訓練)を継続して実施し、3つの小中学校では、訓練の計画策定から運営までを学校と地域が連携し、自主的な訓練が行われた。それぞれの地域で特徴ある訓練項目として、外国人の避難時の支援、災害時要援護者の受入れ支援、児童引取り訓練など新しい試みも行われた結果、多くの参加者を得ることができ、地域防災力の向上や防災意識の高揚が図られた。</p> <p>また、都筑区の施設を最大限に生かした訓練として、ららぽーと横浜では、約1,000人の従業員と消防・警察・自衛隊などの関係機関による避難訓練及び救出救助訓練を実施し、昭和大学横浜市北部病院では、多数の負傷者の来院を想定し、実際に対応する医師等が行うトリアージ訓練を実施するなど、より実践的な訓練を行った結果、防災関係機関の災害対応力の向上や各機関の連携等の強化を図ることが出来た。</p>
-------	--

八都縣市以外の広域応援	なし
-------------	----

今後の課題	地域分散型訓練を積み上げていくことによって、それぞれの地域ニーズや特徴を反映した、より実践的で効果的な訓練を実施する必要がある。
-------	--